

畜産飼料高騰対策支援 4,200万円を含む補正を可決



9月定例会議案採決(議案第6号。原案)

報告	2件
市長提出議案	17件
請願	2件

【議案第1号】 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて

全会一致で新たな 人権擁護委員決定

八幡平市の区域における人権擁護委員である遠藤友子氏は、令和5年12月31日をもって任期が満了するため、新たに松浦淳二氏を推薦しようとするものです。

【議案第6号】 令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)

3億1879万円 増額の補正予算

歳入、歳出それぞれ3億1879万9千円を増額し、総額191億8552万8千円とするもので、主なものは次のとおりです。

- ▼西根総合支所移転先改修工事 4800万円(増額)
- ▼畜産飼料高騰対策支援補助金 4200万円(増額)
- ▼債務負担行為補正 19億9800万円(追加)

※債務負担行為とは、将来にわたる債務を負う契約を結ぶことです。

【議案第6号】 令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議

駅前顔づくり施設 修正動議を提出

発議者Ⅱ高橋悦郎議員、古川津好議員、賛成者Ⅱ工藤直道議員(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事および(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事監理業務に係る債務負担行為補正について、市の財政運営で20億円を超える債務負担行為を補正予算に計上することは異例であり、内容説明も不十分な上、この事業の最大の目的である大更駅周辺にぎわいづくりの具体的構想も不十分である。また、当初の計画にはなかった図書館の整備が予定されているが、図書館のデジタル化が急激に進展している中、その対応策が不十分で大更駅前に移転する根拠も明確でない。事業を進めるに当たり、市の財政負担が極めて大きいこと、それによる市民の暮らしを守るインフラ整備や産業振興などへの影響が懸念されることから、当該工事および監理業務を削除した修正案を提出しようとするものである。

※修正動議とは、市が議会に提出した議案に対し、原案の内容の修正・変更を求めることです。

討論(令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)原案について)

【反対討論】 工藤 多弘 議員

まず初めに、子育て支援のための施設整備を兼ねた大更駅前顔づくり施設の建設について、反対ではなく、併設される図書館の移転に反対の立場である。各地の図書館では、図書のデジタル化が急速に進んでおり、ハードの建物より、そちらのソフトの対応を急いで進めるべきであると考えます。さらに、市立図書館が大更駅前に移転しても、にぎわいの創出に結び付くとは限らない。何より、この事業をこのまま進めると建設工事費、設計管理費、備品購入費の合計が約24億円である。今後、物価高で工事費が増額した場合は、市の財政負担がもっと大きくなる事が懸念され、この影響により、市民が求めている道路整備や産業振興などへの影響も心配される。このことから、(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事および(仮称)大更駅前顔づくり施設建設工事監理業務の債務負担行為補正を追加することについては、反対である。

【請願第2号】 旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の使用を求める請願

当該施設の使用は できないと判断

不採択すべきものと決定

産業民生常任委員会では詳細な調査が必要と判断し、現地視察を行った結果、当該施設の屋根には無数の穴が開き、窓ガラスや壁が雪に圧迫され破損している危険な箇所が多く見受けられた。除雪もままならず、冬場の雪害が深刻である。また、骨組みの鉄骨部分は耐用性がありそうだが、修繕に多額の費用がかかることは明白である。なお、当該施設は取り壊し対象施設であるため、市では修繕を行わないとのことである。隣接する旧安代老人憩の家は廃虚となっており、付帯施設としての当該施設も市の計画に基づき早急な解体処理が必要である。それらを踏まえ、当該施設をそのまま市民に貸し出しをすることは大変危険であり、市民の安心安全を守るという観点からしても無責任と思われる。よって、ゲートボール愛好者の心情に配慮する声もあったが、施設の使用はできないものと判断した。

討論(旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の使用を求める請願)

【賛成討論】 齊藤 隆雄 議員

旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場は、市内唯一の冬期間でも地面上でプレーできる貴重な鉄骨構造の施設である。市公共施設再編計画では、旧安代老人憩の家は廃止、併設の屋内ゲートボール場は廃止に向け、関係者と協議を進めるとある。確かに老人憩の家は、平成27年に条例廃止となったが、この廃止がゲートボール場廃止の根拠とはならない。なぜならば、当該施設は市の了解の下、令和4年まで利用しており、市も廃止の認識ではなかったと思われる。屋内ゲートボール場は、高齢者の生きがい、健康づくり、楽しみの場となっており、この請願は利用者から今後3年間使用させてほしいという切実な声と旧安代町の首長を含む、100名の賛同署名も添付されている。市民から議会への請願であり、議会の真価も問われている。使用を認めるべきと判断し、賛成討論とする。

【請願第3号】 市道岩屋・岩木線改良に関する請願書

市道岩屋・岩木線 改良の請願を採択

現在の市道岩屋・岩木線は両集落間がつながっておらず、行き止まりとなっているため、接続道路の設置をお願いしようとするものです(請願者Ⅱ市浅沢地域振興協議会会長齋藤政四郎)。

県の安比川河川改修事業による管理用道路計画に、市道幅をプラスして維持管理が十分行えるよう整備していただきたく、また市からも本計画が早期着工されるよう県に対しての要望・協議をしていただきますようお願いいたします。

【議案第17号】 教育委員会の教育長の任命に関し同意を求めることについて

教育長の人事案件 全会一致で同意

教育委員会の教育長である星俊也氏は、令和5年11月14日をもって任期が満了するため、再び同人を任命しようとするものです。

討論（令和4年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について）

【反対討論】 高橋 悦郎 議員

反対の主な理由は、大更駅前顔づくり施設実施設計委託料、1億3900万円が令和4年度予算に計上されたからである。今決算議会での議論の中で、施設建設の目的とその効果が明確に示されなかった。また、この施設を建設することで、今後の市の財政運営が硬直化していくことが懸念される。この施設建設では、国の補助金や交付金が該当しないとの説明であった。主な財源は、基金と元

【賛成討論】 田村 正元 議員

賛成理由として、一般会計予算額215億4千万円、歳入決算額208億6千万円で収入率96・9%、歳出決算額は、202億2千万円、執行率93・9%、財政状況は各財政指数の数値から、おおむね良好な状況にあると認められる。各事業とも第2次八幡平市総合計画後期基本計画に沿って、時に応じた修正を加え適切に執行されたものと考えられる。歳入の市税収入率は89・6%と低下が問題

利償還時の地方交付税算入率30%である市の負担が大きくなり起債を使うことも明らかになった。自治体の財政構造の弾力性を表す指標に、経常収支比率があるが、70%から80%が理想と言われているが、当市の令和4年度は97・6%で自由に使える一般財源は大きく減少している。この状況の中で「大更駅前顔づくり施設」の建設を進めていけば、市民生活に必要な予算配分ができなくなると言わざるを得ない。以上、反対討論とする。

視されるが、適切な徴収計画を示しており、改善することを評価する。歳出は、各事業とも本決算特別委員会、内容について精査したことも踏まえ、市民生活に寄与できる施策が実施されていると考える。また、大更駅前開発や学校再編計画など、今後の市民生活に影響を与える事業があるため、より一層、施策の精査を適切に行い、市の均衡ある発展に努めることを期待し、本決算内容が総合的、包括的に適正であると判断する。

令和5年第3回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名 (会派名)																		議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	外山 一則 (八起会)	田村 正元 (八起会)	齊藤 隆雄 (日本共産党)	関 治人 (八起会)	羽沢 寿隆 (八起会)	工藤 多弘 (松西会)	勝又 安正 (八起会)	北口 功 (無会派)	欠 番	熊澤 博 (自由クラブ)	立花 安文 (八起会)	渡辺 義光 (市民クラブ)	工藤 直道 (自由クラブ)	古川 津好 (松西会)	高橋 悦郎 (日本共産党)	高橋 光幸 (市民クラブ)	井上 辰男 (八起会)	工藤 隆一 (八起会)	
議案第6号 (修正案)	●	●	○	●	●	○	●	●	△	欠席	●	●	○	○	○	●	●	—	修正案否決
議案第6号 (原案)	○	○	●	○	○	●	○	○	△	欠席	○	○	●	●	●	○	○	—	原案可決
議案第11号	○	○	●	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	●	○	○	—	認定
請願第2号	●	●	○	●	●	○	●	●	△	○	●	●	○	○	○	●	●	—	不採択

※賛成=○、反対=● 工藤隆一議長は採決に加わりません